

船舶事故等調査報告書

平成24年9月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第23号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年5月28日（月） 21時09分ごろ	
発生場所	沖縄県 <small>いぜん</small> 伊是名村 <small>なかだ</small> 仲田港 仲田港東防波堤灯台から真方位312°530m付近 （概位 北緯26°55.7′ 東経127°57.1′）	
事故等調査の経過	平成24年5月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 プレジャーボート エターナル、11トン 船舶番号、船舶所有者等 250-27233大阪、個人所有 乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 死傷者等 なし 損傷 両舷プロペラ曲損、右舷プロペラシャフト曲損、左舷船尾擦過傷	
事故の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、荒天避難のため、船首約0.7m、船尾約0.9mの喫水で仲田港内の係留岸壁に向けて手動操舵により速力約3ノットで北進中、平成24年5月28日21時09分ごろ、周囲の状況を確認しようとしてクラッチを中立にした際、風により圧流されて浅瀬に乗り揚げた。 本船は、満潮時に自力で離礁した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東北東、風力 5、視程 約12.8km 海象：潮汐 上げ潮の中央期、波高 約2.5m	
その他の事項	船長は、暗くなり始めて風も強まりだしたので、避難のために仲田港へ入港することにしたが、仲田港への入港は初めてであった。 船長は、GPSを見ながら指示を出して航行していたが、港内の周囲が見えなかった。 乗船者は、全員が救命胴衣を着用していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、仲田港を手動操舵で北進中、船長が港内の周囲の状況を確認しようとしてクラッチを中立にした際、風により圧流されたことから、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、仲田港を手動操舵により北進中、船長が港内の周囲の状況を確認しようとしてクラッチを中立にした際、風により圧流されたため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	